

1. 実施日：2023年5月28日（日）
2. コース：新大阪駅前（7:30）→（バス）道の駅大淀（9:20）→大台ヶ原ビジネスセンター（10:30）  
登山開始（11:00）→最高峰「日出ヶ岳」1,695m（11:50～12:20 昼食休憩）→正木が原→尾鷲辻分岐 1,580m  
→大蛇ヶ原 1,579m 大蛇ヶ原から二手に分かれ
  - ① 大蛇ヶ原→シオカラ谷→大台ヶ原ビジネスセンター（16:00）
  - ② 大蛇ヶ原→尾鷲辻→中道経由大台ヶ原ビジネスセンター（15:50）  
ビジネスセンター（16:30）→道の駅大淀（トイレ休憩）→新大阪駅（17:30）
3. 歩行距離9k。所要時間5時間。標高差275m。ただ、最後のシオカラ谷分岐から吊り橋への下り、センターへの上りは実際の高度差以上のものを感じました。
4. 天候：曇り→晴→霧（一か月に35日、屋久島と並んで1年に366日雨が降るといわれていますが、好天で風もあり非常に快適な一日でした。）
5. 参加者：岡田、北村、西本、小瀧（4名）
6. トピックス：クラブツーリズム主催の大台ヶ原ハイキングに便乗。  
新大阪駅前に7:15集合26名の参加者と元気な添乗員さん（声が大きく旅慣れた女性）とバスに乗り7:30出発。途中道の駅大淀でトイレ休憩（途中の説明で帰路に就く時間帯には登山口のバスセンターも道の駅も閉まっていたのでトイレ以外は使えないということで帰りの食料としてみんな柿の葉寿司を購入して帰路に備える）  
3時間のバス旅で登山口に到着、13名ずつの2班に分かれ1名ずつのガイドさんを紹介され、入念な準備体操、車内で渡された高価（帰宅して調べると19,000円程度）と言われた「ガイドレシーバー」の使用方の説明を受け11:00出発。女子7名男性6名のパーティー（他を見渡しても女性が多かったです。）  
いざスタートするとつれもてペースではない速さで（このままずっとついていけるか不安になる）、50分弱で今日の最高峰日出ヶ岳に到着。少しあっけない気もしたが、展望台で写真撮影と360度の展望で東は富士山・伊勢湾方向（実際には見えない）北は2月に番外で登った高見山、南は大峰山系、西は金剛・葛城眺めて昼食。20分の休憩ということで岡田珈琲店は開店できませんでしたが、用意いただいたお湯でいつもと同じコーヒーで一息。  
伊勢湾台風で木が倒れた後、笹が生い茂り若芽が育たず、樹木の復活ができていない正木ヶ原、神武東征の経路との言い伝えがある「神武天皇像」や祟りを抑えるため置かれた「牛石」を左右に見て尾鷲辻へ。ここで本日の見どころ絶景の「大蛇ヶ原」。5人ずつ進んで絶壁から周囲や下を見て足をすくませながら記念撮影。人数制限のため我々の後は大渋滞、待つのが嫌な人と怖そうだからという人は進むのをあきらめた方もいました。大蛇ヶ原を見た後「最後の上下りをパスする方はこの地点戻ってセンターへ」との説明を受ける。  
ここからは最後の難所？1.4kmの道を150m下り、同じ距離の階段をやはり150m登りゴールの道をひたすら歩いて、今日一日分の汗をかいて4:00丁度にセンターへ到着。先行していた北村さんと岡田さんが、もう閉店と言う売店の人と交渉してビールを購入、それをもってバスに。ビールがなくなると西本さん持参の日本酒で盛り上がり帰途につきました。  
少し時期遅れのシャクナゲや逆に早めのゴヨウツツジ（愛子さまのお印）が目を楽しませてくれ、小鳥の鳴き声にも癒された一日でした。（記録 小瀧）



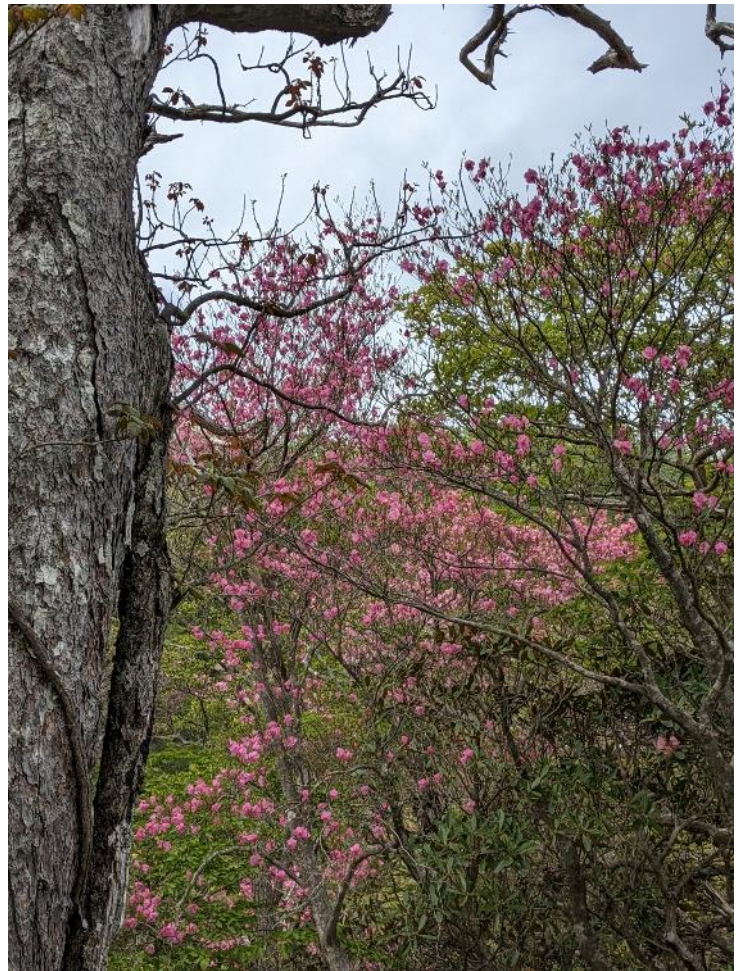
日出ヶ岳直下の展望台にて



日出ヶ岳山頂（北を望む）



シロヤシオ

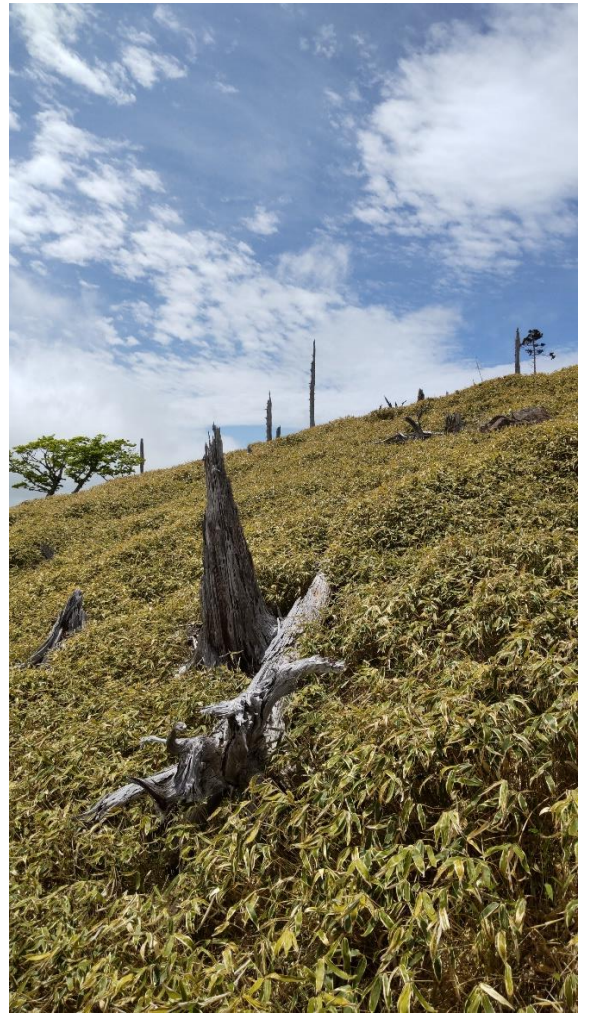


アカヤシオ





大台ヶ原のシャクナゲ（花卉の7裂が特徴）



日出ヶ岳の山腹の枯れ木



恐る恐る「大蛇峠」の先へ進む



「大蛇峠」の先端で